



2026年5月21日

各 位

会 社 名 株式会社ロジネットジャパン
代表者名 代表取締役 社長執行役員 橋本 潤美
(コード番号 9027 札証)
問合せ先 取締役 常務執行役員
経営企画管理本部長 嶋野 暁
(TEL 011-251-7755)

当社子会社の取締役に対する譲渡制限付株式報酬としての
自己株式の処分に関するお知らせ

当社は、本日開催の当社取締役会において、譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分（以下、「本自己株式処分」という。）を行うことについて、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 処分の概要

(1) 払込期日	2026年6月10日
(2) 処分する株式の種類及び数	当社普通株式 11,209株
(3) 処分価額	1株につき4,050円
(4) 処分総額	45,396,450円
(5) 処分子定先	当社子会社の取締役(※) 19名 11,209株 ※一部の当社取締役との兼務取締役及び一部の当社子会社の使用人兼務取締役を除く。

2. 処分の目的及び理由

当社は、本日、当社取締役会の決議により、当社子会社の取締役（一部の当社取締役との兼務取締役及び一部の当社子会社の使用人兼務取締役を除く。以下、「対象取締役」という。）に対して、当社及び当社子会社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えると同時に、当社の株主の皆様との一層の価値共有を進めるため、2026年5月付けの当社各子会社の定時株主総会決議日から2027年5月実施予定の当社各子会社の定時株主総会決議日の前日までの期間に係る譲渡制限付株式報酬として、割当子定先である対象取締役19名（以下、「割当対象者」という。）に対して支給された金銭報酬債権合計45,396,450円を、割当対象者が当該金銭報酬債権の全部を現物出資の方法によって給付することにより、特定譲渡制限付株式として当社普通株式11,209株を割り当てることといたしました。なお、各割当対象者に対する金銭報酬債権の額は、当社子会社における各

割当対象者の貢献度等諸般の事項を総合的に勘案して決定しております。また、本自己株式処分による希薄化の規模は、2026年5月20日現在の発行済株式総数5,740,000株に対し0.20%（小数点以下第3位を四捨五入。）と軽微であるため、譲渡制限付株式を交付する株式報酬制度の目的に照らして合理的であると考えております。また、当該金銭報酬債権は、各割当対象者が、当社との間で、大要、以下の内容をその内容に含む譲渡制限付株式割当契約（以下、「割当契約」という。）を締結すること等を条件として当社子会社より支給いたします。

3. 割当契約の概要

① 譲渡制限期間

当社及び当社子会社の取締役、監査役及び使用人のいずれの地位からも退任又は退職する日までの間

上記に定める譲渡制限期間（以下、「本譲渡制限期間」という。）において、割当対象者は、当該割当対象者に割り当てられた譲渡制限付株式（以下、「本割当株式」という。）につき、第三者に対して譲渡、質権の設定、譲渡担保権の設定、生前贈与、遺贈その他一切の処分行為をすることができません（以下、「譲渡制限」という。）。

② 譲渡制限付株式の無償取得

当社は、割当対象者が、当社取締役会が定める期間（以下、「役務提供期間」という。）が満了する前に当社及び当社子会社の取締役のいずれの地位からも退任した場合には、当社取締役会が正当と認める理由がある場合を除き、本割当株式を、当該退任の時点をもって、当然に無償で取得するものといたします。

また、本割当株式のうち、本譲渡制限期間が満了した時点（以下、「期間満了時点」という。）において下記③の譲渡制限の解除事由の定めに基づき譲渡制限が解除されていないものがある場合には、期間満了時点の直後の時点をもって、当社はこれを当然に無償で取得するものといたします。

③ 譲渡制限の解除

当社は、割当対象者が、役務提供期間中、継続して、当社又は当社子会社の取締役のいずれかの地位にあったことを条件として、期間満了時点をもって、当該時点において割当対象者が保有する本割当株式の全部につき、譲渡制限を解除いたします。ただし、割当対象者が、当社取締役会が正当と認める理由により、役務提供期間が満了する前に当社及び当社子会社の取締役、監査役及び使用人のいずれの地位からも退任又は退職した場合には、譲渡制限を解除する本割当株式の数及び譲渡制限を解除する時期を、必要に応じて合理的に調整するものといたします。また、割当対象者が、役務提供期間満了後、本譲渡制限期間が満了する前に当社及び当社子会社の取締役、監査役及び使用人のいずれの地位からも退任又は退職した場合には、本割当株式の全部につき譲渡制限を解除するものとし、譲渡制限を解除する時期を、必要に応じて合理的に調整するもの

といたします。

④ 株式の管理に関する定め

割当対象者は、S M B C日興証券株式会社に、当社が指定する方法にて、本割当株式について記載又は記録する口座の開設を完了し、譲渡制限が解除されるまでの間、本割当株式を当該口座に保管・維持するものといたします。

⑤ 組織再編等における取扱い

当社は、本譲渡制限期間中に、当社が消滅会社となる合併契約、当社が完全子会社となる株式交換契約又は株式移転計画その他の組織再編等に関する議案が当社の株主総会（ただし、当該組織再編等に関して当社の株主総会による承認を要さない場合においては、当社取締役会）で承認された場合（当該組織再編等の効力発生日が期間満了時点より前に到来するときに限る。以下、「組織再編等承認時」という。）であって、かつ、当該組織再編等に伴い割当対象者が当社及び当社子会社の取締役、監査役及び使用人のいずれの地位からも退任又は退職することとなる場合には、当社取締役会決議により、2026年6月から当該組織再編の効力発生日を含む月までの月数を12で除した数（ただし、計算の結果1を超える場合には1とする。）に、当該組織再編の効力発生日において割当対象者が保有する本割当株式の数を乗じた数（ただし、計算の結果1株未満の端数が生ずる場合には、これを1株に切り上げるものとする。）の本割当株式につき、当該組織再編等の効力発生日の前営業日の直前時をもって、これに係る譲渡制限を解除するものといたします。

また、組織再編等承認時には、当社は当該組織再編等の効力発生日の前営業日をもって、同日において譲渡制限が解除されていない本割当株式の全部を当然に無償で取得するものといたします。

4. 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

本自己株式処分における処分価額につきましては、恣意性を排除した価格とするため、当社取締役会決議日の直前営業日（2026年5月20日）の札幌証券取引所における当社普通株式の終値である4,050円としております。これは、当社取締役会決議日直前の市場株価であり、合理的かつ特に有利な価額には該当しないものと考えております。

以 上